

<テーマ> 「よく学ぶ子」「やさしい子」「たくましい子」を育てます。

1 研究の目的 校内研修を計画的に実施し、授業力の向上を目指します。

2 研究内容 授業力向上に向けて、3つの取組を進めます。



授業力向上のための取組 1

分かる授業を目指して「算数科を中心とした授業研究」に年間を通して取り組んでいます。

- ・「教師が教える場面」と「児童が考える場面」をバランスよく位置付けられるよう、授業実践を通して研究しています。
- ・「伝え合う活動」を、目的を明確にして効果的に位置付けることや、その際の教師のかかわり方、さらに発達段階や内容に応じた学習形態について研究しています。

研究主題

自ら学び、生き生きと取り組む児童の育成を目指して
～ 算数科を中心とした分かる授業の創造 ～



研究の仮説

仮説 1

「踏み台学習」や「ステップアップ学習」を適切に実施することで、知識・技能の定着を図ることができるのではないか。

仮説 2

「教える場面」と「考える活動」をバランスよく位置付けることで、考える力の向上を図れるのではないか。

仮説 3

「伝え合ったり教え合ったりする活動」を適切に導入することで、表現する力の向上を図ることができるのではないか。

研究の内容

方針 1

単元の指導計画の改善

- ・「踏み台学習」の効果的実施
- ・「ステップアップ学習」の工夫
- ・「少人数指導」の効果的導入

方針 2

授業展開と指導の工夫

- ・「教える場面」と「考える場面」の授業展開への位置付け方
- ・「教える場面」での指導の工夫
- ・「考える場面」での支援の工夫

方針 3

伝え合う活動の充実

- ・ 伝え合う活動の目的の明確化
- ・ 学習形態の工夫
- ・ 教師の支援の工夫
- ・ 式、表、図等の活用への支援

授業実践



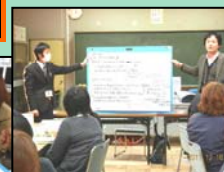
研究授業



分析と検証



授業研究会



1年 水のかさ

ペア学習での伝え合う活動への支援

5年 三角形の面積

教える場面、考える場面の位置付けを工夫

3年 小数

ステップアップ学習で内容を定着

グループ協議

少人数での活発な意見交換

全体会での発表

授業の観点に基づいた全体協議

指導講評

和田指導主事からの指導助言

授業力向上のための取組 2

“指導のコツを学び合おう”を合言葉として「同僚性アップ研修」を実施しています。

- ・ 校内には、特定教科を専門的に研究している同僚や、分かりやすい指導のコツやポイントを知っている同僚、児童が目を輝かせる教材をもっている同僚などがたくさんいます。
- ・ 身近にいる同僚から、肩を張らずに、指導のコツやポイント、効果的な教材などを学び合おうというのが、この研修の趣旨で、夏季休業中の校内研修などで行っています。

夏季休業中の校内研修(半日で実施)

教科等の指導のコツを同僚に伝える

同僚性

同僚から学ぶ

国語 社会
算数 生活
理科 音楽
図工 家庭
体育 英語

- ・ 専門的に研究している教科の指導や評価のポイント
- ・ 知識の定着や技能を高める指導方法のコツ
- ・ 自作教材の紹介 等

- ・ 身近にいる同僚から気軽に学ぶ
- ・ 日常的に情報を交換しやすくなる

授業力向上



宇大 松本先生の講話
同僚性を高める校内研修のあり方は…

同僚性アップ研修

授業力向上のための取組 3

全員が授業を公開し、互いのよさを取り入れ合う「一人一授業」を実施しています。

- ・ 全教員が年間に一度授業を公開し、互いによさを取り入れ合ったり、より良い指導のために意見を交換し合ったりしながら、教員が切磋琢磨しながら指導力を高めます。
- ・ 授業を公開することや、他の教員の授業を参観することを、自分の指導方法を見直す機会として活用し、自ら意欲的に指導力の向上に努められるようにします。

年間を通して随時実施(原則として授業者が決定)

授業を参観して学ぶ

授業後に意見交換する

一人一授業

- ・ 指導のポイントや工夫を学ぶ
- ・ 子どもへの関わり方や学級経営等を学ぶ

- ・ より効果的な指導について意見交換を行う
- ・ 複数の目で見ることにより、児童指導を充実する

授業力向上

様式

一人一授業 ○○科指導案

日時:○月○日○校時 指導者:○年○組○○○

単元名	
題目	(○/○時間)
本時の目標	
主な学習活動	
備考	参観者から特に意見をもらいたいこと

キリトル

()先生の授業の感想 氏名 ()

一人一授業

一人一授業の進め方

- ・ 授業者は指導案を作成し事前に配布(様式参照)
- ・ 参観者は無理のない範囲で参観(感想のメモを渡す。)



3 まとめ(成果と課題)

- 新しい内容を学習する際に、絵や図、数直線等を使う児童が増え、既習内容を活用して考える力に伸長が認められる。
- 授業研究会においてテーマに基づく活発な意見交換が行われるとともに、一人一授業により互いの授業を日常的に見合い、指導法や教材に関する情報交換が盛んに行われるようになった。
- 伝え合う活動の導入は進んだが、さらに児童の表現力を高める効果的な活動のあり方や支援を工夫する必要がある。